

よむ

News from
Inabe City
Council

No.82

ギカイ

いなべ市議会だより／令和6年／6月定例会

P2～ 定例会のようす

P5～ 一般質問

P13 令和5年度政務活動費の報告

P15 親子議会体験ツアーのお知らせ

P15 議会報告会のお知らせ

P16 クイズ

第3回いなべ市観光写真コンテスト入賞作品
「ガタンゴトン」 佐野 充さん



6月定例会

(5月30日～6月27日)

補正予算や条例の制定などを含む14議案を審議

6月定例会のようす

一般質問

お知らせ

クイズ

議案第35号 財産の取得（北勢防災拠点施設用地）

全会一致で可決

北勢防災拠点施設を整備するため

質疑

Q どのような施設にしていくのか。

A 令和2年度に防災拠点倉庫を建設したが、想定になかった水槽車や除雪車、大型発電機を格納する倉庫が必要ということで、庁舎からも比較的近く資材の置き場として活用する。

議案第39号 菰野町との定住自立圏形成協定の締結

全会一致で可決

人口定住のために必要な生活機能を確認し、互いに連携および協力することにより、圏域全体の活性化を図る

質疑

Q 一般廃棄物処理施設の建設について、現時点で説明できることはあるか。

A 事務局の打ち合わせを月2回程度のペースで行うことを確認。国の交付金を申請するため、11月ごろまでに地域計画の策定を予定している。

Q 教育と防災の項目がないのはなぜか。

A 教育は、すでに東員町と連携している。菰野町は朝日町と川越町と連携している。防災は、2市2町で連携しており、菰野町は四日市市と連携しているため、今回の協定には入っていない。



総務省ホームページより

議案第40号 工事請負契約の締結（山郷小学校バリアフリー化改修及びプール他解体工事）

全会一致で可決

契約金額：1億6,280万円 契約の相手：株式会社大橋組 三重営業所（桑名市大福）

エレベーター、スロープ等の設置工事、トイレの洋式化およびプールなど老朽化した施設の解体工事

質疑

Q プールの跡地利用の計画はあるか。

A 駐車場として利用予定。

議案第41号 令和6年度いなべ市一般会計補正予算（第2号）

全会一致で可決

地域脱炭素移行重点対策加速化事業.....1億3,435万円

環境省の令和6年度地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）を活用し、公共施設への太陽光発電設備および蓄電池の設置、住宅や事業所向けの太陽光発電設備および蓄電池の設置補助など、2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを行う

質疑

Q 補助の周知方法。

A 個人向け太陽光発電設置や蓄電池設置などの補助は、ホームページ、広報紙で周知を行い全戸にチラシを配布する予定。また、個人向け電気自動車購入については要綱を作成していく。

Q 申請窓口は。

A 8月22日から開始予定で窓口は環境政策課になり、自然電力いなべ株式会社が審査および調査を行う予定。

Q 今回の太陽光発電設備を設置する施設の選定理由、場所は。

A 市の避難所に指定されている小・中学校のうち、発電面積、耐震などを考慮の上、最適なところ7カ所を選定。選定箇所は、山郷小学校、北勢中学校、員弁西小学校、三里小学校、笠間小学校、石榑小学校、藤原小中学校の7校。公共施設は市役所本庁舎の屋根、阿下喜の浄水場、水素ステーション、あげき温泉、篠立きこ園の5施設を選定。

Q 5年間事業の脱炭素プロジェクトは、その後も継続していくのか。

A 市の施設が170施設ほどある。できれば全てに太陽光発電設備を設置したいので、補助金がなくなっても事業を進めていきたい。

グリーン・ツーリズム推進地区価値創造事業 3,000万円

総務省の過疎地域持続的発展支援交付金（過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業メニュー）を活用し、いなべグリーン・ツーリズム推進地区（川原地区、鼎地区、古田地区、篠立地区）の観光交流人口拡大および地域課題解決のために、地域運営組織である一般社団法人グリーンクリエイティブいなべに対して補助を行う

質疑

Q 地元との協議をどれくらいしたのか。

A 具体的な詳しい協議はまだ行っていない。

Q どのような事業内容か。

A 大きく4本の柱として、インバウンドの誘客体制の構築、企業および学校等の団体誘客体制構築、関西および名古屋圏までの中間層の誘客体制の構築、梅まつり来訪者誘客体制の構築。

Q どれくらいを見込んでいるのか。

A 令和6年度の目標は、インバウンドをターゲットした体験プランの造成件数を2件、企業・学校をターゲットとした体験プラン造成件数2件、中間層をターゲットとしたツアープランの造成件数2件、梅まつり開催中のグリーン・ツーリズム推進地域来訪者数を300人という目標を立てている。

Q この交付金は、ICT技術の活用で鳥獣害センサーなどで鳥獣害対策に使えるとあるが、いなべ市では。

A 今回の申請は地域の方が困っている梅まつり期間の渋滞。パークアンドライドシステムを導入するとともに、いろいろな決済方法を考えていくという意味でのICTの活用。

Q 産業振興と集客による鼎地区の活性化とは、どのような効果を期待しているか。

A 地域活性化になると考えている。農業公園へ来られる方々と地域の方々のふれあい、食材の提供、雇用によって効果を生み出すと考える。



6月定例会議案

議決結果一覧表

★全会一致で可決および承認した議案等

※議案名は省略しています

議案第31号 税条例の一部を改正

議案第32号 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正

議案第33号 地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

議案第34号 水道の布設工事及び布設工事監督者の資格並びに水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正

議案第35号 財産の取得について（北勢防災拠点施設用地）…北勢町麻生田にある土地

議案第36号 いなべ市道路線の認定…市に移管された旧県道、宅地開発により新設された道路を認定（8路線）

議案第37号 いなべ市道路線の変更…起点または終点を変更するもの（3路線）

議案第38号 いなべ市道路線の廃止…一般に使われなくなった市道を廃止するもの（1路線）

議案第39号 菰野町との定住自立圏形成協定の締結

議案第40号 工事請負契約の締結…山郷小学校のバリアフリー化改修、プール他解体工事

議案第41号 令和6年度一般会計補正予算（第2号）

発議第2号 市長の専決処分事項指定についての一部改正について

発議第3号 いなべ市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について

発議第4号 特別委員会の設置について

議案に対してご意見をいただきました



詳しくはホームページをご覧ください

市民生活に影響があると思われる議案に対して、市民の皆さまから次のようなご意見が寄せられました。

菟野町との定住自立圏形成協定の締結について

(4) 環境：広域連携による持続可能な循環型社会の構築について

- 新たなゴミ処理場の建設について、どこに建設されるのか、排出される物質についてモニタリングされているのか心配。適切なモニタリングと公表を願う。
- 焼却炉建設以外の代替案について、ゴミの減量化についても検討してほしい。

※ご意見は紙面の都合上、省略しています

議会発議により

条例の制定・改定・委員会の設置を行いました

発議第2号 市長の専決処分事項の指定についての一部を改正するもの

発議理由：地方自治法の一部を改正する法律の施行により引用条文が改正されたため、議会において指定した市長の専決処分事項の指定についての一部を改正するもの

発議第3号 いなべ市議会議員の請負の状況の公表に関する条例

発議理由：議員個人と市との請負が認められていなかったが、今回の法改正により「各会計年度において支払を受ける当該請負の対価の総額が普通地方公共団体の議会の適正な運営の確保のための環境の整備を図る観点から政令で定める額を超えない者を除く」が加えられ、政令で定める一定金額（300万円）までは、議員個人による市との請負が規制の対象から除かれることとなった

発議第4号 特別委員会の設置について

発議理由：いなべ市総合計画特別委員会を設置し、第2次いなべ市総合計画の進捗確認及び検証を行い、第3次いなべ市総合計画基本構想の議決につなげる。設置は令和6年6月27日、委員は18人

第1回 臨時会 のようす (令和6年4月17日)

★賛成と反対が分かれた議案と審議結果

○は賛成 ●は反対 小川幹則議長は採決に加わらない。(可否同数の場合は議長裁決)

議案名	会派		いなべ未来	新風いなべ				創風会		新生つばさ		いなべ市議団		日本共産党	無会派						
	付託委員会	審議結果		寺輪博樹	小川幹則	岡英昭	位田まさ子	林正男	多湖公	篠原史紀	出口日佐男	片山秀樹	小寺徹翁	伊藤智子	清水隆弘	伊藤三保	原田敬司	渡辺一弘	岡恒和	衣笠民子	西井真理子
承認第4号 専決処分の承認を求めることについて（いなべ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）		承認	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○

臨時会議案 議決結果一覧表

★全会一致で可決および承認した議案等 ※議案名は省略しています

承認第3号 専決処分の承認を求めることについて (いなべ市税条例の一部を改正する条例)

議案第30号 製造請負契約の締結について (基幹システム標準化移行業務)

選挙第1号 三重県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について

市民の 声が届ける

**15議員
が登壇!!**

質問通告項目は以下のとおりです。

一般質問は市政全般
に対して質問を行います。
一般質問の内容についての
記事は各議員の責任
において掲載しています。
なお、要約して掲載
しています。

岡 英昭 P5

- 1 教育の諸課題について
- 2 保育の諸課題について
- 3 ノルディスク ヒュゲ サークルズ UGAKEIについて

位田まさ子 P6

- 1 市内危険箇所信号機、横断歩道の設置を
- 2 障がい者(児)のグループホームの建設を望む

寺輪 博樹 P6

- 1 防災意識を高めるために
- 2 消防団の活動環境整備

出口日佐男 P7

- 1 いなべ市施設予約システムの改善について
- 2 市内公共施設及びレジャー施設に洋式トイレの設置を求む
- 3 合併20周年を機に市のシンボルである「花」・「木」・「鳥」の制定を

多湖 公 P7

- 1 ドローン(小型の無人航空機)を活用するための整備は
- 2 北勢インターチェンジ(仮称)の周辺道路と街並みの整備は

片山 秀樹 P8

- 1 小中一貫教育の成果と課題について
- 2 いなべ市の地籍調査について
- 3 保育園の私立化(社協)について

小寺 徹翁 P8

- 1 救急車の運用について

伊藤 智子 P9

- 1 市民が求める公園
- 2 高齢者から子どもまで交流できる環境整備
- 3 若い世代が活躍できる「しくみ・しかけ」づくりを

清水 隆弘 P9

- 1 骨髄移植ドナー助成制度の導入を
～あなたにしか救えない命がある～

原田 敬司 P10

- 1 いなべ市のまちづくり
- 2 認知症対策について
- 3 カーブミラーなど構造物の点検を

伊藤 三保 P10

- 1 高齢者が生き生きと暮らせるいなべ市に
- 2 デジタル世代の子どもたちを守るために

渡辺 一弘 P11

- 1 農業の現状と取組について
- 2 防犯対策について

岡 恒和 P11

- 1 公立小中学校における「働き方改革」について問う
- 2 公立保育園の民営化について問う

衣笠 民子 P12

- 1 個を大切に社会へ～自衛隊員募集のための名簿提供～
- 2 市民温水プール

西井真理子 P12

- 1 子ども、子育て世代の声
- 2 公共交通、更なる前進のための取組み



←動画配信
サイトへ

いなべ未来

おか
岡

ひで
英

あき
昭

担任を教諭で全校配置できたのか

答／正規教員でなく講師での配置ある

Q 教諭と講師等教員の配置割合は。

A 小学校教諭81.8%。講師等18.2%。中学校教諭76.8%。
講師等23.2%。

Q 小中学校の最大校と最小校は。

A 小学校最大校は員弁西小307人、14学級。最小校は丹
生川小100人、8学級。中学校最大校は大安中421人、
16学級。最小校は藤原中137人、8学級。

Q 教員の職務量軽減のため配置のスタッフは。

A 全校にスクールサポートスタッフ、市独自でコミュニ
ティスクール推進員を配置。

**Q 4月いなべ市に初の私立学校聖母の家学園いなべ校が開
校したが影響は。**

A 進学先が増え特別支援教育の専門的センター機能を持つ
交流拠点に。

保育の諸課題について

Q 新規保育士の採用状況は。

A 市立0人、社協立14人。

Q 全園で正規担任配置できたのか。

A 全園クラス数に合わせて正規で配置。

Q 笠間保育園の仮園舎の契約期限と内容は。

A 3年間の借用。令和8
年8月末までの契約。
延長は可能。

Q 新園舎建設への状況は。

A 用地取得までの合意に
は至っていない。



保育士の現場

ノルディスク ヒュゲ サークルズ UGAKEI

Q 年間来訪者の市内、市外の比率は。

A 市内1.2%。市外98.8%。

Q レストラン棟の建築状況は。

A 基礎工事が終わり、棟上げ作業を行っている。

Q レストランの利用は宿泊者のみか。

A 今後は運営が落ち着けば、市民にもランチやディナーを
提供していきたい。

Q 七大字生産森林組合員、地元への恩恵、メリットは。

A 地元食材の活用、薪の提供、石樽小学校の野外体験など。



危険箇所信号、横断歩道設置を

答／公安委員会に要望をし続ける

Q 大泉新田を二つに分断する国道421号線と県道557号線の交差点が、通勤と通学の時間帯と重なり非常に危険。交差点に信号機と横断歩道の設置を望む。

A 信号機の設置は公安委員会の管轄であるため要望したが、交通量が少ないと予想されるため設置は困難。



新道大泉新田の交差点

Q 集落センターへの生活道路が危険。市道と国道421号線の交差点に横断歩道の設置を。また、畑新田地内の東西を分断する市道に横断歩道を。

A 過去に地元と桑名建設事務所の協議で横断歩道は困難だが、国道421号線の両側に歩道を設置。畑新田は要望があればいなべ署へ横断歩道設置を要望する。

障がい者（児）のグループホームの建設を望む

Q 市内には、地域で暮らし続けるグループホームが少ない。親も本人も高齢化し将来が大変不安。グループホームの建設を望む。

A 現在、建設を検討している事業所から相談がある。今後も協議を行い、障がい者グループホームの充実に努めたい。

Q 協議の内容は。時期、場所、人数は。

A 整備計画案では、令和6年度に設計、令和7年度に整備と工事、令和8年度に開所。場所は北勢町の谷坂住宅跡地を検討。定員はグループホーム8人、短期入所2人の定員10人と聞いている。

Q 重度障がい者、高度障がい者のグループホームの受け入れは難しいと聞くと、原因と対策は。

A 人員確保が課題。原因はスキルの難しさや人材育成に時間を要すること。対策はヘルパー等派遣の重度訪問介護サービスの利用。



地域の防災リーダーの育成は

答／実情を把握しながら検討していく

Q 「災害時には地域住民による共助が重要な役割を果たすことから地域防災力の強化を図る」としている。具体的にどのような強化を図ろうとしているのか。

A 自治会を核とした避難行動要支援者名簿の作成の推進について、実施自治会の拡充を進めている。

Q いなべ市の防災対策につなげる「気付き」は整理されているか。

A 何が必要であるかを再認識する場を持ち、インフルエンサーとして幅広く、多くの職員に広げることが重要であると考え。

Q 消防団と協働して防災訓練を行う考えは。

A 消防団と地域の協働による訓練は、市として積極的に支援していきたい。

Q 防災の観点で消防団と連携していることは。

A 令和3年にいなべ市女性消防団が発足し、積極的に地域へ出向き防火防災啓発を行っている。

消防団の活動環境整備

Q 消防団員の確保について行政からのサポートは。

A 女性消防団と一緒に消防団のPR活動や、団員確保に向けてさまざまなイベントを通じて啓発を行っている。

Q 出勤時の保険について市の考えは。

A 出勤時の事故を鑑みると、マイカー共済の加入も必要と考える。加入については、近隣市町の動向も確認しながら検討していく。

Q 防火パレードについて、事故を防ぐ意味も含め、今まで以上の工夫が必要と考えるが。

A パレードについては、消防団の幹部役員と検討していく。



消防団の訓練風景



市の施設予約システムの改善を

答／改善する方向で業者と協議する

- Q 他市町と比較していなべ市の施設予約は午前9時から午後10時までの限られた稼働時間である。改善の余地はあるか。
- A システム稼働時間の変更は業者とメンテナンス変更協議が必要。費用が発生する場合もあるが、少しでも改善できるように業者と検討、協議する。

公共施設に洋式トイレの設置を

- Q 市内公共施設18カ所中、洋式トイレが未設置の箇所は7カ所。特に藤原運動場、中山グラウンドは子ども、高齢者が多く利用しており、和式トイレでは用を足せず一刻も早い改修を待ち望んでいる。早急に洋式トイレへの改善を。



藤原運動場の和式トイレ

- A 令和5年度に其原グラウンドのトイレを改修した。今後とも計画的に改修を行っていきたい。
- Q 年間5万人が訪れるいなべ公園。第1、第2駐車場の女子トイレを洋式に。
- A 3月に第3駐車場のトイレを洋式に改修した。今年度は第1駐車場を洋式に改修する。

今こそ市のシンボルの制定を求む

- Q 市制20周年を機に市史編さんに取り組み始めた。この機会にいなべ市のシンボルである「木」、「花」、「鳥」を制定しては。
- A 合併前の旧町で定めた町のシンボルは、20年経過しても住民に深く浸透している。このことに配慮しつつ、制定する必要とタイミングを見極めたい。
- Q 三重県内29市町の中で制定のないのは、いなべ市のみ。市史編さんに併せて取り組むことが絶好のタイミング。市長の考えは。
- A 市史編さん委員の中で、自然科学の専門の方がいれば意見を聞く。



ドローンを活用するための整備は

答／国および県に準じて検討を進める

- Q 現在いなべ市はドローンを何台所有し、どのように活用しているか。
- A 農林商工部、建設部、企画部に各1台ずつあり合計3台を所有。農林商工部は農地・農業用施設、林道災害の現地確認。建設部は道路・河川災害や土石流発生時の現地確認、企画部は広報活動の撮影、他課からの依頼による空撮業務などに活用。また、ドローンの物資輸送の実証実験をしている佐川急便株式会社と災害時の応援協定を締結。
- Q 将来ドローンをコントロールする部署設置予定は。
- A 活用する部署が幅広くなることから、現状は所管部署の検討は行っていない。今後、県や近隣市町の状況を注視しながらコントロールする部署設置を検討したい。



さまざまな活用が期待されるドローン(小型無人航空機)

北勢インターチェンジ(仮称)の 周辺道路と街並みの整備は

- Q インターチェンジが完成すれば交通の利便性が向上し、企業誘致や地域経済の活性化に大きな役割を果たすが、周辺道路と街並み整備の計画は。
- A さらなる誘客につなげることができるよう、グリーンクリエイティブいなべの理念に基づき、観光事業を進めていきたい。
- Q 市としてインターチェンジの周辺、阿下喜地区の将来像はあるのか。
- A 将来像の計画はないが、阿下喜ビジターセンター(仮称)を阿下喜地区の新たな拠点として、観光案内所や起業・創業のチャレンジの場、また、交流や休憩場所として整備を進めていく。



小中一貫教育の成果と課題は

答／誰1人取り残さない教育こそ成果

Q 小中一貫教育への取り組みには教職員の意識改革が必要と考えるが人事異動、研修等どのように取り組んだのか。

A 5年前から始めた小中一貫教育だが、中学校区ごとの小中の教員が、グランドデザインに多くの時間をかけて共に作ってスタートしたことが特徴であり、誇りに感じている。

小中学校間の人事異動は難しいが、年5回の中学校区研修会と、年12回の一貫教育推進のためのワーキンググループ会議を実施して、取り組んでいる。

Q 生徒に合った習熟度別クラス編成や、もっと勉強のレベルを上げたい生徒もいる。エリート教育について教育長はどのような考えか。

A 習熟度別クラス編成により、自分の学習状況や課題がわかるので、主体的に取り組んでいける。

エリート教育については違和感を感じる。「生き拓く力」「一人力」「仲間力」などの非認知能力を醸成する環境をつくるのが大切だと考える。

Q 0歳から15歳までの一貫教育に取り組むということだが、コンセプトと計画を聞く。

A 0歳から15歳までの保育から学校教育の枠組みに拡げることが、質の向上になる。本年度は非認知能力の獲得と保育、教育の接続を重点課題と考えている。



5年が経過した藤原小中一貫校

地籍調査について

Q 地籍調査が滞っている。今後の計画は。

A 調査の範囲を広げすぎて滞った。令和2年以降は新規には着手せずに遅延地区解消作業に取り組んでいる。



救急車の適正利用と体制強化

答／市の媒体を使い、市民に周知する

Q 聴覚や言語障害によって音声での会話が困難な方へ「ネット119緊急通報システム・FAX119緊急システム」の市民への普及活動の内容は。

A 市のホームページに掲載のほか、福祉部局の窓口で説明。なお、令和元年10月からネット119緊急通報システムの運用に伴い、Eメール119のサービスが令和2年1月で終了した。

Q 東京消防庁が進めて全国に拡大しつつある「緊急搬送トリアージ」について、市の所感は。

A 県内では現状行っておらず、救急車が必要なのか判断に迷った場合は、三重県救急医療情報センターやみえ子ども医療ダイヤルに相談を。

Q 近隣の救急搬送活動における1回の出動費用は、平均6万円ほどであるが本市における救急出動の費用算出は。

A 市の委託先である桑名市消防本部として費用算出は行っていない。四日市市が令和5年で約6万円と算出しており、同程度と見込む。

Q 令和5年度の常備消防費は約6億2,000万円であったが、直近の桑名市消防本部への委託費の推移は。

A 約6億900万円となる見込み。

Q 本市における消防職員の充足率が県内でも低水準である。増員における費用対効果は市民の命を守るための必須の努力義務と考えるが、市の所感は。

A 整備指針上の職員比率は県下15消防署中9番目、比率だけで消防本部の人員が不足しているとはいえない。

不搬送理由別件数

	辞退・ 緊急性なし	拒否	傷病者なし	誤報・ いたずら	死亡・ その他	合計
令和3年	18	25	19	6	56	124
令和4年	52	24	16	6	67	165
令和5年	60	16	10	4	39	138

(増加傾向)

傷病程度別搬送件数

	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
令和3年	37	148	553	703	3	1444
令和4年	43	160	685	890	0	1778
令和5年	41	208	208	968	0	1886

(増加傾向)

(増加傾向)



獣害対策した畑で世代間交流を

答／市は今は既存の補助ができるのみ

- Q 市民の日常的な居場所に市民に憩いと安らぎを与え、気軽にフлариといける公園を。
- A グリーンインフラを活用したまちづくりを進めていて自然をそのまま体験、満喫してもらう。
- Q グリーンインフラ事業は市民活動の広がりや交流の場になったのか。
- A この3年間で参加者1,380人、ボランティア300人程度あり、市民活動の場が広がり、参加者やボランティア間の交流が促進された。

高齢者から子どもまで交流できる環境整備

- Q 空き家を有効活用出来る制度を創設しては。
- A 賃貸物件が少ないことから難しい。賃貸としての物件が増えれば、空き家を地域の有効資源として多様な活用が出来る仕組みづくりを考えていきたい。
- Q 4月からいなべ市子ども食堂応援補助金を創設し、子どもの居場所づくりを応援強化しているが、団体数は。
- A 現在5団体、新規6件相談中。

若い世代が活躍できる 「しくみ・しかけ」づくりを

- Q 全国には、まちづくりのため、大学生・高校生・中学生・子育て世代が町内会の役員等になり、高齢者宅を訪問する取り組みをする自治体、中学2年生の生徒が理事になり、同じ世代が集まれる工夫をしている自治体、また若いお母さんの工房やママさん草刈り隊を作ったりしている自治体がある。住民主体のまちづくり支援のため、住民要望に応じて補助金を出して、広く市民の活躍が活発になる「しくみ・しかけ」を創るべきでは。
- A 本市には補助金交付要綱があり、具体的な目的要項基準等を定め、申請しやすく対応している。今後も地域課題解決のためしくみ、しかけ補助金が必要であれば課題の内容に応じて検討していきたい。



骨髄移植ドナー補助制度の導入を

答／実施市町の実績を踏まえて検討

- Q 骨髄移植ドナーを増やすために高校生へのアプローチは。
- A 市としては実施していない。県が行っている。
- Q 成人式での啓発は。
- A 行っていない。今後、啓発資料の配布を検討したい。
- Q 「献血並行型骨髄バンク登録会」の実施を。
- A 三重県赤十字血液センターと保健所と調整して検討したい。
- Q 骨髄移植ドナー休暇制度の市内企業への普及の取り組みは。
- A 三重県赤十字血液センターと協働した取り組みを考えたい。
- Q 三重県庁では新規採用職員説明会で骨髄バンクドナーについて周知・啓発を図っている。いなべ市役所でも新規採用職員説明会および職員研修で実施を。
- A いなべ市においても実施する。
- Q 骨髄移植ドナーによって、病気に苦しんでいる人がもっと助かるには、私は3つの段階があると思う。①骨髄バンク移植制度のことを「知る」②骨髄バンクにドナー「登録する」③移植を「行う」。骨髄バンク制度のことは小中学校での早い段階から知ってもらうことが大切。自分が人の命を救えることができる、自分しか救えない命があるということを知ることが肝要だと考えるが、教育長の見解は。
- A 学ばなければわからない。子どもたちが知ることが大事。健康こども部と協議し、骨髄バンクについて小中学校で周知する。そのことによって、保護者も理解を深め、協力を得られるのではないかと考えている。

三重県内の新規ドナー登録者数の推移

令和2年	202人
令和3年	177人
令和4年	167人
令和5年	169人

ドナー登録者数の比較

	人数	登録率
日本国内のドナー登録者数	554,123人	0.44%
三重県内のドナー登録者数	4,352人	0.24%
いなべ市内のドナー登録者数	98人	0.21%

※三重県赤十字社および三重県にヒアリングし清水隆弘が作成



認知症にならないための事業は

答／認知症施策推進大綱に沿った事業を

Q 認知症総合支援事業の考え方は。

A 認知症施策推進大綱での予防とは、発症を遅らせ、発症しても進行を緩やかにすることと説明されている。運動不足の改善、糖尿病や高血圧などの生活習慣病の予防、社会参加による社会孤立の解消や役割の保持などが、発症を遅らせることができる可能性を示唆している。認知症予防も想定した生活習慣病予防および介護予防を促進するために、各部署が連携し、健康相談などを実施。認知症予防についての講話や認知症予防運動プログラムも実施。

Q 元気クラブが認知症予防に有効と聞いたが。

A 自宅から会場に出向くこと、体操をして身体と頭を動かすこと、体操の後に話をすることなど、WHOが公表した「認知機能低下及び認知症のリスク軽減のためのガイドライン」における推奨する対策の、身体活動・社会活動そのものであり、元気クラブに参加することが認知症予防につながると考えている。



元気づくり体操

いなべのまちづくり

Q 整備する阿下喜の大型観光駐車場の利用者が訪れる観光地はどこと想定しているか。

A 阿下喜の店舗や歴史ある町並みの散策、また、市や企業、フェアトレード協会などが地区内で実施するスタンプラリー、八幡祭などを想定。現在、整備中の阿下喜ビジターセンター(仮称)は、観光案内所や起業・創業のチャレンジの場として整備し、交流や休憩もできる阿下喜の新拠点とする予定。



高齢者が生き生きと暮らせる市に

答／業務効率を向上させて支援を強化

Q 地域包括支援センターの認知度を上げる必要があると考えるが。

A いなべ総合病院、日下病院に支所を設置し、医療的な相談に対応できるようになり認知度は徐々に上がっている。

Q サービス利用の手続きの簡素化を図る取り組みは。

A 令和5年2月からホームページで介護保険に関する16項目の申請、届け出について手続きが可能になった。

Q 高齢者の中には、ごみ捨てに負担を感じる方も見えると考えるが。

A 親族、ご近所、福祉委員会、有償ボランティア等の活用が考えられる。ご近所同士の助け合いを進めるために、今年度からボランティアポイントの導入を予定している。



くらしサポートセンター縁

デジタル世代の子どもたちを守るために

Q 学習用端末、スマートフォンなどの使い方の実態の把握は。

A 学習用端末については、使用画面の確認、机間指導、児童生徒からの声で把握している。

Q 起きている問題について、教育委員会が取り上げている事項は。

A 情報モラルの充実。情報モラルとは「情報社会で適正な行動を行うための基になる考え方と態度」のことで、これらを身につけるために、学校では正しい知識や考え方を日常的に指導している。

Q 問題が起こったときの対処は。

A 事実の確認、把握をして要因や原因を整理する。なにより重要なのは、子どもたち自身が正しく道具を使い、正しく判断していく力を身につけることであり、ともに取り組んでいきたい。



見守りのための防犯カメラ設置を

答／防犯灯設置を中心に取り組む

- Q 子どもたちの安心・安全だけではなく、認知症の方の徘徊にも大きな役割を果たす防犯カメラの通学路への設置を。
- A 設置費用および維持管理費用、市民のプライバシー保護の観点から設置する予定はない。
- Q 市民からの防犯カメラ設置の要望はないか。
- A 市民からの要望はない。自治会からの要望は令和4年度、5年度合わせて4件。
- Q 自治会からの要望があっても防犯カメラの設置に前向きでない理由は。
- A 設置費用および管理費用、またプライバシーの観点。
- Q 本市での近年の犯罪の件数の推移は。
- A 総件数についてはコロナ明けで増加傾向。凶悪事件は少ないものの、粗暴犯、窃盗犯、詐欺等が増えている傾向。
- Q 市はこれから、関係人口、交流人口を増やしていくということだが、人の出入りが増えるという事は、事件や事故が増えるのではないか、という市民の不安もあるが。
- A 地域での防犯活動に取り組む。地域ぐるみで防犯活動を行うことが大変重要。
- Q 近年では、手口の巧妙化・凶悪化が進んでいることから、これまでの防犯対策をより一層強化していくことが求められる。安全で安心なまちづくりを推進するため、自主防犯活動の補完としての防犯カメラ設置は、今後必要だと思うが。
- A 防犯対策事業としては、防犯灯設置事業が規模・予算額において中心であり、今後も引き続き防犯灯設置事業を中心に防犯対策に取り組む。



防犯カメラ



教職調整額の引き上げ効果は

答／時間外削減効果は疑問も感じる

- Q 長時間勤務の解消のため中教審特別部会は「教職調整額」を10%以上にする「審議のまとめ」を策定した。この効果を教育長はどう考えるか。
- A 教職を目指す人が増加したり、教員のモチベーションにはつながるかもしれない。しかし、時間外勤務の削減という点ではどれほど効果があるのか疑問。
- Q 令和2年度から令和4年度で小学校、中学校別の教諭の1カ月当たりの時間外が45時間を超える人数は。
- A 令和2年度小18.3人、中32.8人、令和3年度小14.1人、中30.5人、令和4年度小20.6人、中48.4人。
- Q 市の在校時間等の上限等に関する規則では、時間外上限を1カ月45時間、1年間360時間とし、業務量の適切な管理を行うとしている。規則違反の状況を早急に解消するためには知恵や工夫、資源を最大限活用する必要がある。たとえば出退勤管理を、一人1台PCのログ記録を活用できないか。
- A システム上は可能。校長会と相談したい。

公立保育園の民営化について問う

- Q 市長は民営化を進める理由に、国の運営費が公立はなくなったからとしてきた。公立保育園については基準財政需要額に反映され、地方交付税措置があると思うがどうか。
- A 交付税措置はある。しかし、施設の大規模改修は私立保育園のほうが有利。
- Q 無償譲渡契約は「双方代理」となるが、議会の議決で有効との解釈は、議決がなければ無効となる危うさがある。あえて市長が社会福祉協議会長を続けるのは。
- A 代わってもらえる適当な人があれば、お願いしたい。



経済的負担の軽減、何をするのか

答／通告にない

Q 物価高騰で市民生活が厳しく国も定額減税を行う事態。下水道料金値上げ延期の提案をすべきでは。

A 議員のみなさんの値上げの苦渋の決断を無にできない。

Q 3月定例会で「子どもの医療費窓口無料の年齢引き上げは、医師会との問題と事務作業が煩雑になるためできない」と答弁。今回は市の問題ではなく、医師会が大変になると答弁した。桑名市、四日市市、鈴鹿市、名張市、伊賀市、菰野町、川越町が県制度以上に実施。いなべ市ができない理由は。

A 医師会、医療機関で対応が煩雑になる。

自衛隊員募集のための名簿提供

Q 令和5年9月定例会で、除外申請制度を設ける検討と準備を始めているとされた。進め方は。

A 他市町を参考に検討。令和6年3月の募集対象者情報提供に向け、ホームページや広報誌Linkで周知し、令和6年1月18日～2月21日の約1カ月間インターネット、窓口、郵送により受け付けた。

Q 18歳、22歳になる日本国籍を有する人の同意はとれたか。

A 同意なく提供するが、除外申請制度で、望まない人の思いをくみ取りたい。

市民温水プール

Q 利用者の意見は。

A おおむね良好。施設への意見は指定管理者と協議し、対策を講じている。



いなべ市温水プール

Q 温水プール利用の水泳授業は子どもの負担にならないか。

A 一番遠い十社、藤原小学校は往復50分。入水前後の導入部分と終末を除いた実技指導に45分間。バス移動時間は休み時間の扱い。負担増と考えていない。



小中高生の困りごとを聞く場所は

答／総合計画用のアンケートを実施

Q 多くの子どもが主体的に行動し、活気に溢れた毎日を過ごし、地域の担い手や世界で活躍する人材を生み出すまち、いなべを目指し、質問する。刊行された「みえの子ども白書2024」を参考に、いなべの子どもたちの生活実態、意識についてどのような取り組みができるか。



みえの子ども白書2024

A 三重県子ども条例の前文に「子どもが安心して生きること、差別や暴力から守られること、思いや意見が尊重されること」などと記載されている。行政、学校、地域、家庭それぞれが連携し、できる取り組みや支援を考え推進する。

Q 小学生、中学生、高校生の子どもの気持ち、困っていることを聞き取り、協議され取り入れる場所や機会はあるか。

A 令和6年度、第3次いなべ市総合計画の策定に向けて中高生にアンケートを実施し、思いや意見を施策に反映させていく。いなべ総合学園高校の生徒と総合計画を考えるワークショップも実施。

Q 子育て世代の声や困りごととは、年齢に応じて多岐に渡る。子どもの年齢ごとに行政が聞き取り、かゆいところに手が届く仕組みが望まれる。子育て世代と一緒に施策を考えていく場はあるか。

A 子育て支援センター、保育園、家庭への訪問などで保護者の声を聞き共に考えている。引き続き子育て中の家庭に寄り添い、声を聴かせてもらいたい。

市民にとって便利な鉄道を

Q 地域公共交通計画の作成は。

A 現在調査、協議中の北勢線維持の方向性にもよるが、計画の策定により国からの補助が受けられる。

令和5年度 いなべ市議会 政務活動費 収支報告

(令和5年4月～令和6年3月)

(単位：円)

会派名	いなべ未来		新風いなべ	創風会	新生つばさ	日本共産党 いなべ市議団	政和会	いなべサス テナブル
所属議員 項 目	林 正男	岡 英昭	片山秀樹	清水隆弘	渡辺一弘 (R5.11月～R6.3月)	衣笠民子	西井真理子	篠原史紀 (R5.4月～R5.10月)
	小川幹則	位田まさ子	多湖 公	伊藤智子	伊藤三保 (R5.11月～R6.3月)	岡 恒和		
	寺輪博樹 (R5.12月～R6.3月)	種村正己 (R5.4月～R5.10月)	篠原史紀 (R5.11月～R6.3月)	小寺徹翁	原田敬司 (R5.11月～R6.3月)			
	原田敬司 (R5.4月～R5.10月)	伊藤三保 (R5.4月～R5.10月)	出口日佐男 (R5.12月～R6.3月)					
	渡辺一弘 (R5.4月～R5.10月)							
交 付 額	2,400,000		990,000	1,080,000	450,000	720,000	360,000	210,000
調査研究費	630,724		106,640	425,374	224,410	26,400	13,200	23,040
研 修 費								
広 報 費	124,234		462,000	582,184	132,770	286,456	337,794	
広 聴 費								
要請・陳情活動費								
会 議 費								
資料作成費								
資料購入費	9,900			5,940		3,960	9,006	1,980
人 件 費								
事務所費	64,420				87,269	12,452		
支 出 額	829,278		568,640	1,013,498	444,449	329,268	360,000	25,020
返 納 額	1,570,722		421,360	66,502	5,551	390,732	0	184,980

※政務活動費「交付額」は、基準日（各月1日）における当該会派の所属議員数に月額30,000円を乗じて得た額。

※所属議員名の（ ）書きは、当該会派の所属期間。

※使途の詳細は、議会図書館および市議会ホームページでご覧いただけます。

各会派（議員）が政務活動費で 参加した主な研修

- ◎新人議員のための地方自治の基本
- ◎高齢化の進展・人口減少に対応した交通まちづくり
- ◎地域公共交通活性再生法の改正と地域公共交通計画
- ◎統一地方選挙の検証と地方議会の課題
- ◎人口減少と共存する方策
- ◎人口減少に勝ち抜く戦略
- ◎有機農業の推進・オーガニック給食
- ◎新人議員になったら押さえておきたい議員の基礎知識
- ◎地方創生SDGs 特別講座
- ◎地域間交流の果たしてきた役割と多文化共生のこれから など

議 員 表 彰



全国市議会議長会、東海市議会議長会から市議会議員として、市政の発展に尽くされた功績を称えられ、位田まさ子（20年）、岡 英昭（20年）、衣笠民子（20年）、小川幹則（10年、正副議長4年）、岡恒和（10年）、伊藤智子（10年）が表彰を受けました。

いなべ市議会

議会報告会

を4月21日(土)、24日(水)、25日(木)、27日(金)の4日間
4会場で開催し、延べ34名の方にご参加いただきました。

令和6年3月定例会の報告を行い「空き家」「防災」について意見交換会を行いました。

たくさんの貴重なご意見をいただき、有意義な時間を共有しました。

こんなご意見をいただきました



「空き家」について

- 空き家バンクに登録が少ない
- 転入者、移住者には補助やさまざまな特典を
- マッチングが難しい
- 宿泊施設や研修施設、市営住宅として利用しては
- 空き家にして周りが迷惑していることを知らない
- 解体する費用の補助を など



「防災」について

- 組織が機能するよう定期的に訓練をする
- 家屋の耐震化が必要
- 近隣に誰が住んでいるか知らない
- 高齢者をどうやって避難させるのか
- 自治会でチェーンソーや発電機を備えておくの良い など

皆さんからいただいたご意見は、今後の所管事務調査に役立ててまいります



令和6年6月定例会の議会報告会は動画で配信しています。

対面での報告会は10月を予定していますので、ぜひご参加をお待ちしております。

親子議会体験ツアー参加者募集

【日時】

令和6年8月24日(土)
10:00 ~ 11:30

(気象警報が発令された場合は翌日に延期)

【申込締切】

令和6年8月12日(月)

【内容】

議会の説明、議場などの見学、議場での質問タイム、記念撮影など

【対象】

市内在住の小学1年生から中学3年生までの親子(中学生は本人のみの参加もOK)

【場所】

いなべ市役所 議会棟

【申込方法】

①住所 ②お子様、保護者の氏名、ふりがな ③学校名と学年 ④電話番号、メールアドレス ⑤議員に質問したいことを記入し、郵送、FAX、持参、メールまたは、右の申込フォームから申し込んでください。



申込先

〒511-0498 いなべ市北勢町阿下喜31番地 いなべ市議会事務局

TEL 0594-86-7848

FAX 0594-86-7872

E-mail gikai@city.inabe.mie.jp

ご参加
お待ちしております

議会報告会を開催します



令和6年10月20日(日) 14:00 ~ 15:30
市役所 シビックコア棟 2階



令和6年10月23日(水) 19:00 ~ 20:30
藤原文化センター 大研修室



令和6年10月24日(木) 19:00 ~ 20:30
員弁コミュニティプラザ 集会室



令和6年10月27日(日) 14:00 ~ 15:30
大安公民館 大会議室

6月定例会のようす

一般質問

お知らせ

クイズ

クイズ

ぜひご応募
ください

問1 新たに定住自立圏形成協定を結ぶ自治体は。
下から選んでください。

①桑名市 ②菰野町 ③東近江市

問2 次回、対面で行う議会報告会は何月でしょうか。

問3 8月に行う予定の「親子〇〇体験ツアー」

〇〇を埋めてください。

答えはすべて「紙面の中」にあります。

応募方法

官製はがきに「答え」・「住所」・「氏名」・「年齢」を記入してお送りいただくか、下記の二次元バーコードからご回答ください。正解者の中から抽選で15人の方に「図書カード」をプレゼントします。

☆あて先 511-0498

いなべ市北勢町阿下喜31番地

いなべ市議会 議会事務局



応募フォーム

☆締切日 令和6年8月30日(金)《当日消印有効》

※応募いただく「はがき」のスペース(空白)に「議会だより」や「議会」に対するご意見やご感想をお聞かせください。次号で紹介させていただきます。

※応募いただいた「ハガキ」にご記入の個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

※クイズの答えは次号に掲載いたします。また、当選者の発表は図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

編集後記

夕立を心待ちにしたくなるような猛暑の毎日が続きますが、いかがお過ごしのことでしょうか。さて6月定例会で審議された議案は、補正予算や条例の制定などを含む14議案で、本会議または各委員会で活発な議論が繰り広げられました。

また、一般質問では、15人の議員が登壇し、3日間にわたって市政全般に対して質問を行いました。その様子の一端を紙面にてご覧ください。

今後ともいなべ市議会に関心を持っていただけるように、編集委員一同、紙面づくりに努めてまいります。

9月定例議会について(予定)

- ◆開会日 8月28日(水)
- 一般質問 9月 4日(水)
- 9月 5日(木)
- 総括質疑 9月11日(水)
- 予算決算常任委員会 9月11日(水)
- 総務経済常任委員会・分科会 ... 9月12日(木)
- 都市教育民生常任委員会・分科会 ... 9月14日(金)
- 予算決算常任委員会 9月25日(水)
- ◆閉会日 9月27日(金)

インターネット配信



中継配信 URL

http://inabe.gijiroku.com/g07_broadcasting.asp



録画配信 URL

http://inabe.gijiroku.com/g07_Video_Search.asp

録音放送

いなべFM(86.1MHz)で議会の録音放送を聴くことができます。

詳しくはいなべ市ホームページにてご確認ください。

議会の傍聴

市議会では本会議、委員会の開催日に傍聴席を開放しています。お気軽にお越しください。

受付場所：いなべ市役所議会棟2階

SNSの配信

市議会の情報を配信しています。



ご意見箱の設置

皆さまのご意見をお待ちしています。

設置場所 市役所1階(正面玄関付近)

議会棟1階(入口付近)

議会棟2階(傍聴席入口付近)

いなべ市議会 議会事務局

〒511-0498 三重県いなべ市北勢町阿下喜31番地

TEL 0594-86-7848 FAX 0594-86-7872

<https://www.city.inabe.mie.jp/gikai/>

